

一般財団法人 共立国際交流奨学財団
2026(令和 8)年度事業計画書
(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

I. 奨学金支給事業(継続事業1)

■アジア諸国から日本に留学し勉学に励む留学生に、勉学に励む為の資金援助と学習環境を提供する奨学金を支給する。

※30 周年記念事業として、①～③の各奨学金の支給額を 2026 年度から月 1 万円増額

- ① 一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金(月額 11万円・1 年間)を 2026 年度生 25 名に支給する。
- ② 株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金(月額7万円・1 年間)を 2026 年度生 30 名に支給する。
- ③ ヤングスチール株式会社奨学金(月額7万円・1 年間)を 2026 年度生 2 名に支給する。
- ④ ベトナム・カンボジア・ラオスで現地奨学金(年額 1 万 5 千円)を支給する。
- ⑤ 2027 年度奨学生の募集・選考を行う。
- ⑥ 寄附募集活動を行う。
- ⑦ 同窓生の状況調査を実施する。

II. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業(継続事業2)

■日本国内・外の留学生に対して日本の高等教育機関の就学状況、日本で留学生生活を過ごす為の生活状況(日本の習慣、奨学金等)の情報を無償で不特定多数の留学生に提供し、日本留学時に参考にしてもらうことを目的とする。

- ① 財団紹介パンフレット(年 1 回)、アジア文流(年 2 回)を出版する。
- ② 留学生生活手帳を出版する。
- ③ 奨学生・留学生の就職活動支援として、就職情報誌「共立・桜」(年 1 回)を出版し、財団ホームページで求人情報の提供・就職相談を行う。
- ④ ソウル事務所・成都委託事務所・ホーチミン委託事務所・プノンペン委託事務所・チェンマイ委託事務所・ジャカルタ委託事務所・クアラルンプール委託事務所で日本の大学院・大学・短期大学・専門学校・日本語教育機関の情報、奨学金情報、住居情報を無料提供する。

Ⅲ. 国際交流活動への支援(継続事業3)

■日本留学の夢を持って、日本語を学習している留学希望の学生達に日本語のイベントに参加してもらって、入賞者は日本に招待し、日本旅行を体験させ、日本理解を促進する。

- ① 第 29 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in 北陸・東海(韓国)」を開催する。
- ② 第 24 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in 成都」を開催する。
- ③ 第 19 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in ホーチミン」を開催する。
- ④ 第 14 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in プノンペン」を開催する。
- ⑤ 第 14 回/第 1 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in バンコク/チェンマイ」を開催する。
- ⑥ 第 13 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」を開催する。
- ⑦ 第 12 回(2026 年度)「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」を開催する。

■日本留学中の留学生には、日常の留学生活では体験できない日本を、日本の家庭にホームステイすることで体験させ、日本の生活・文化の理解を促進する。

※30 周年記念事業として、研修会の財団補助額を 2025 年 11 月以降開催分から増額

- ① 一般学生(留学生・日本人混在)参加の研修会(年 6 回)を行う。(訪問先の財団と連携し訪問地域をよく知る研修)

■国際交流活動は相互交流と理解ということから、留学生ばかりではなく日本人学生のアジア理解を促進する。

- ① アジア 7 か国(韓国・中国・ベトナム・カンボジア・タイ・インドネシア・マレーシア)への留学を希望する日本人学生に対し、現地の生活や学校などの情報を提供する。

Ⅳ. 日本語教育施設の設置及び運営

■カンボジアのシェムリアップに設立した合併会社 Hikari-Kyoritsu International School co.,Ltd において、日本語教育を実施する。

Ⅴ. 留学生寮の設置及び運営

■留学生が日本で就学する為の安価で安全でよりよい住環境を提供する生活支援を行う。

- ① つつじヶ丘男子学生会館を運営し、入寮生の募集と生活相談会を行う。
- ② 「学習奨励寮」を全国 7 地域(北海道圏、東北圏、首都圏、東海圏、関西圏、中・四国圏、九州圏)で運営し、入寮生の募集を行う。
- ③ ドーミー相模大野の賃貸住宅経営(サブリース方式)を行う。